

透析患者の合併症とその対策

バスキュラーアクセスの管理

■ 2008. No.17 ■ 2008. 3. 31

目 次

はじめに

I. 総 論

- | | | | |
|-----|----------------------------|------------|----|
| 第1章 | JSDTバスキュラーアクセスガイドラインと今後の課題 | 大平 整爾・今 忠正 | 3 |
| 第2章 | バスキュラーアクセスの作製と管理のストラテジー | 春口 洋昭 | 19 |

II. 各 論

- | | | | |
|-----|--|------------------------|-----|
| 第1章 | 人工血管内シャントの合併症とその対策（感染症を含める） | 酒井 信治 | 31 |
| 第2章 | 人工血管の選択と新素材 | 久木田 和丘・川村 明夫 | 41 |
| 第3章 | 動脈表在化の適応と管理 | 室谷 典義・堀 誠司・疋田 聡・林 独志 | 49 |
| 第4章 | 長期留置型カテーテルの管理 | 土田 健司・吉川 和寛・中村 雅将・水口 潤 | 57 |
| 第5章 | バスキュラーアクセスと心機能 | 西村 真人・小野 利彦 | 63 |
| 第6章 | バスキュラーアクセスインターベンションの実際
ー中心静脈のインターベンションも含めてー | 池田 潔 | 73 |
| 第7章 | インターベンションの器材と新技術 | 佐藤 隆 | 79 |
| 第8章 | バスキュラーアクセスの評価 | 若林 正則 | 93 |
| 第9章 | ボタンホール穿刺の実際 | 當間 茂樹・新里 高弘 | 103 |